


 書評

Benjamin A. Sadock 他 編

Kaplan & Sadock's Comprehensive Textbook of Psychiatry, 8th edition

越野好文

アメリカ精神医学には、Freedman と Kaplan らが、精神医学と行動科学の教育を促進することを目的に開発した総合的な教育システムがある。精神医学の専門的な能力を育て、精神疾患を有する人々に対する最高のケアを保証することをゴールとしている。システムの頂点に位置するのが、1967 年に初版が刊行された Comprehensive Textbook of Psychiatry である。

精神医学の進展に合わせて改訂を繰り返し、現在では精神医学の知識を百科事典的に概説した宝庫に成長し、“壁のない大学”と呼ばれる。信頼性は高く、我々の研究会の討論では「カプランに書いてある」との一言で皆が納得する。このたびわずか 4 年で改訂された第 8 版は、半数以上の執筆者が交代し、50 以上の新しい項目が書き加えられ、前版より 700 頁以上紙数が増えた。従来からの項目も新しい視点で書き直され、時代にマッチした生き生きとした教科書として登場した。

新しく加わった項目をいくつか紹介する。神経科学では遺伝学のゲノムと遺伝子組み換えモデルおよび放射性トレーサー画像が加わった。

情報革新時代を反映し遠隔医学、遠隔精神医学、オンライン治療がとりあげられた。統合失調症では、神経発達仮説と共に遺伝疫学、環境疫学が加わり、病因解明への再挑戦の始まりを告げる。近年の進歩を反映し治療の項目は倍増した。メンタルヘルスケアの政策や精神医学の将来についての社会的発言、あるいは戦争、テロリズムや拷問に関連した項目、対処困難な患者との面接技法、矯正精神医学、性的虐待には時代を感じる。なお、精神薬理学では薬物を臨床効果によってではなく、薬理学的特徴に基づいて整理・分類した。今後の分類の基準になると思われる。その他にも、本書はアメリカ精神医学会の精神疾患の診断と統計マニュアル DSM-IV-TR に準拠しているが、国際的な診断基準の ICD-10 も配慮され、両者の対照表がのせられるなど新しい工夫が凝らされている。

〔金沢大学大学院 脳情報病態学(神経精神医学)〕

● A4 変型 3,760 頁 2005 全 2 巻セット 定価 38,073 円 (本体 36,260 円 + 税) Lippincott Williams & Wilkins 刊

—□お知らせ□—

医学書院発行雑誌のバックナンバーお取り扱いについて

1. 当年および前年中に発行された雑誌は弊社販売部でお取り扱いいたしますので、従来どおりご注文ください。すなわち 2005 年には 2004 年以降発行の雑誌のみお取り扱いいたします。
2. 弊社がお取り扱いする年度以前に発行の雑誌は (株)東亜ブック ☎ 03-3985-4701 Fax 03-3985-4703

<http://www.netpassport.or.jp/~wsatsuru/>
☎ 171-0014 東京都豊島区池袋 4-13-4
がお取り扱いいたします。ご注文や在庫のご照会(上記 HP でリスト公開中)などは東亜ブックへお願いいたします。

医学書院販売部